

OVEP 教師用指導案「アクティビティシート 22 オリンピック競技大会を通じた持続可能な開発」関連
「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」の意味

- 対象： 小学校中・高学年
- 本時のねらい： リサイクルによるメダルの製作を知り、リサイクルの重要性を理解する。
- 準備物： インターネットに接続できるタブレットまたは PC
- 適用可能な学習時間： 総合的な学習の時間、道徳、学級活動 等

時間	学習活動	指導上の留意点	参照資料等
導入 (5分)	1) 本時の見通しを持つ 【発問】オリンピック・パラリンピックのメダルは使用済みの携帯電話で作られることを知っていますか？	東京オリンピック・パラリンピック競技大会では、メダルはリサイクルによって製作されていること、本時はそれについて学ぶことを理解させる。	
展開 (20分)	2) メダルプロジェクトについて知る 「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」の概要を知る。 携帯電話から金属の精製過程を動画「ドコモのケータイリサイクル」を通して理解する。 他にアイロンやカメラなどいろいろな小型家電も利用できることを知る。	自分の身の回りにある不要になったものが役に立つことを理解する。 市区町村の役場、郵便局、ドコモショップなどで行われていることを知る。	東京 2020 公式ウェブサイト「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」の「メダルの原材料」について
(5分)	3)内村航平選手（体操）や池崎大輔選手（ウィルチェアラグビー）のメッセージを読んで、このプロジェクトの大切さを理解する。	選手のメッセージを児童でもわかるように読んで説明する。	東京 2020 公式ウェブサイト「プロジェクト参加方法について」のリンク先動画
(10分)	4) みんなのメダルプロジェクトで作られたメダルをもらった選手はどう思うだろうか、グループで話し合う。	いくつかのグループでの話し合いを発表させる。	同ウェブサイト「アスリートからのコメント」
まとめ (5分)	リサイクルの大切さについて、振り返る。	家にある使われていない携帯電話や小型家電を探してみることに言及する。	